

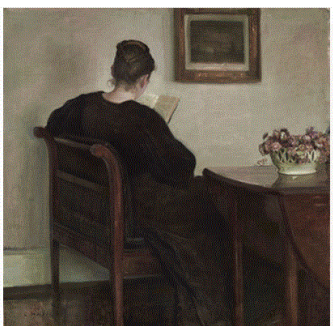
海外ドラマ・(NETBS)の「サバ読み大作戦」がタサイタイトルに似合わず面白い。400のバツイチ子持ちが就活に困って26歳と偽るっていうマンガみたいな設定なのだけど、セリフが刺さるので30代以上の女性は観てほしい(若い子にはピンとこないか、キモいかなりそうだけど)。しかしこのタイトルがどう考えてもタサイ、普通見ようとは思えない。

…制作は観てもらおうという気がないのか? 原題は「Younger」らしい…。サバを読んで就職することが本当に可能なもんならどうするか? ハラハラしたり笑ったりちよつとシンシリしたりできるドラマ。

「ハマスホイとデンマーク絵画展」(東京都美術館)3月26日、オススメです。身近な人物の肖像、風景、室内。静かすぎる作品には好みがわかれるところかもしれないですが、私は色も筆のタッチも、かなり好きでした。ハマスホイは裕福な環境に育った人ですが、室内の雰囲気などから品を感じるとともに、おそらくはクールな性格だったのではないかと想像しました。後ろ姿が多い中、数点の展示された作品に描かれる女性の顔からそれを感じました。美しいだけではない、生きた顔がそこにあります。そこにこそ、彼の誠実さを感じるができます。の各画も数々展示されています。私は



その中にもいくつかとても好きな作品がありました。珈琲を飲みながら女性がふたり会話をしている絵と、大きなキャンパスの風景画で手前に野花が丁寧に描かれている作品。自分の老眼が進んだのかと思うほどぼんやりと描かれた夕暮れ



りとして描かれた夕暮れ
 展覧会では、19世紀デンマークの風景：などです。ぜひ、みなさんも足を運んでみてください♪(写真は私の好きな作品：どっちもハマスホイじゃないけどW)

えんどけいこ

二月になりました。新型肺炎なるものが流行っていますね。とりあえず手洗い・うがいを念入りに行つて、外出時にはマスクをしっていますが、マスクや除菌スプレーの買い占めも問題になっているようですし、過剰に対策するのもどうなのかと思つたりしています。いずれにしても今月も予定が詰まっています。慌ただしくなりそうなので、生活リズムを崩さないようにしてあなたかく(ここが「重要!」)過ごしたいと思います。

先日、若松英輔の『本を読めなくなった人の読書論』という本を読みました。読書は子どもの頃から好きですが、ときどき何も読みたくな、読めな、と思つてもありません。この本では、読書について無理する必要はないといつことが繰り返して語られています。たとえば、できるだけたくさん本を読まないといけないと思つてゐる方もいら

つしやると思います。若松さんは、量や長さにごだわる必要はない、たった一冊、たった一文が人生を変えることもあつて、それこそが貴重な読書体験だといつことを語られています。この本を読むと、そういう読書に対する

思い込みが取り払われるので楽になります。読書に限らず、長く生きていくといろんな思い込みが発生しているかもしれません。少しづつそういう無駄な思い込みから自由になりたいですね。なかなか難しいのですが。

それでは、前回のパズル★の答えの発表です。

- ①張り切って次々搗いた餅はすぐ家から他所へデリバリーする
- はりきつて
- つきつきついた
- ちぢはすへ
- うちからよそへ

デリバリーする

答え：はつもうで(初詣)

②たくさん観客がいて落語家は舞台の上で熱演をする
 たくさんの
 かんきやくがいて
 らくごかは
 ぶたいのうえで
 ねつえんをする
 答え：たからぶね(宝船)

いがかでしたでしょうか。初詣と宝船、新年の季語でした。
 今月のパズルはこちらです。

問題①

- ◎◎じょうかい
- ◎◎クでかせは
- ◎◎かせず
- ◎◎ねんながら
- ◎◎せきにする
- 問題②
- ◎◎だけを
- ◎◎いにすれば

- ◎◎じょうぶ
- ◎◎バにいつち
- ◎◎せるそつじ

まさにこの時季らしい単語です。それではまた、次号で元氣にお会いしましょう。

★短歌の一部が◎と○で隠されています。もとの短歌を復元したとき、◎の文字を順に読むと出てくる言葉は何でしょうか。

プロフィール
 短歌をつくっています。最近、Amazonプライムビデオで映画を観ることを覚えました。『リップヴァンウィンクルの花嫁』がよかったです。

